「将来、子どもを持つこと」についての話を聞くにはどうすればよいですか？

STEP1

がんの診断を受けた病院で相談してみましょう

診断を受けた病院や治療を受ける病院の医師や看護スタッフに相談してみましょう。
その際、がんの状況や治療が将来の生殖機能や妊孕性に与える影響を聞いてみましょう。

STEP2

生殖医療の病院を受診しましょう

がん治療を担当する医師と相談したうえで、紹介状を書いてもらい、生殖医療機関を受診しましょう。あなたの生殖機能や、具体的な生殖機能温存の方法を聞いてみましょう。

STEP3

がん治療を担当する医療スタッフと生殖医療を担当する医療スタッフとともに、どうしたらよいか考える時間が必要です

● 生殖機能の温存を希望する場合

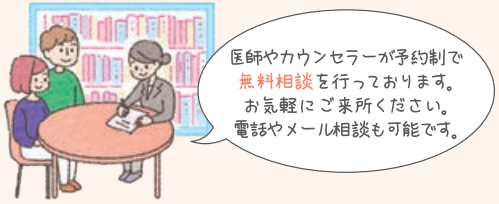
がん治療を担当する医師と生殖医療を行う医師とが連絡を取りながら生殖医療を行う病院で実施します。実施後はもとの病院でがん治療を受けます。

● 生殖機能の温存を希望しない場合

もとの病院でがん治療を受けます。がんの治療中や治療後も、生殖医療 を担当するスタッフや不妊専門相談センターのスタッフと何度でも相談をすることができます。

公的な窓口でも説明を受けることができます

岡山県不妊専門相談センター「不妊・不育とこころの相談室」で、がん患者さんが子どもを持つことについての相談ができます。
（連絡先はパンフレットの裏面にあります。）
生殖医療のみではなく、養子縁組で子どもを持つことの相談もできます。
このような相談は、将来、子どもを持つことができるかどうかを知るためのみではなく、納得してがん治療を行うため、人生を送るための相談でもあります。



がん患者の生殖機能温存・妊孕性温存マップ

がんと生殖医療ネットワーク OKAYAMA では、生殖機能温存・妊孕性温存治療の情報を提供や治療を実施している医療機関が一目でわかるマップを作成しました。ぜひ一度アクセスしてみてください。
URL： http://fertility.mapping.jp/

「子どもがほしい」「もっと話を聞きたい」という場合は…

岡山県不妊専門相談センター「不妊・不育とこころの相談室」
〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町 2-5-1 岡山大学病院内
（開所時間）月・水・金曜日 13:00～17:00（祝日・年末年始はお休み）、第１土・日曜日 10:00～13:00（第１日曜日は事前予約の方のみ）
（オープン日）火曜日 12:00～17:00
（お電話での予約・ご相談）086-235-6542
（メールでの予約・ご相談）funin@okayama-u.ac.jp/
（HP）http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~funin/

公共交通機関をご利用の場合

- 岡電バス 岡山駅後楽園口（東口）バスターミナル
  - ・3 番乗り場「22」「52」「62」／4 番乗り場「12」系統で約 10 分「大学病院入口」下車すぐ
  - ・4 番乗り場「2H」系統で約 10 分「大学病院」（病院構内）で下車
- 路面電車清輝橋行で終点「清輝橋」で下車後 徒歩で約 8 分

お車でお越しの場合

お車でお越しの際は、場内の案内表示に従い、患者様用駐車場をご利用ください。
駐車場スペースに限りがございますので、来院の際はできる限り公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

「がん治療と生殖機能・妊孕性温存について知りたい」という場合は…

がんと生殖医療ネットワーク OKAYAMA
http://www.okayama-u.ac.jp/user/ofnet/

「不妊症・不育症・生殖医療について知りたい」という場合は…

岡山大学病院リプロダクションセンター
http://www.okayama-u.ac.jp/user/repro/

岡山県妊孕性温存環境整備研修事業

― 監修 ―
岡山大学病院リプロダクションセンター
中塚幹也・佐古智子

将来、子どもを持つことについて知りたい方とその家族へ

がん治療の前に知っておきたい

精子の凍結保存のこと

がんと生殖医療ネットワーク OKAYAMA
岡山県不妊専門相談センター「不妊・不育とこころの相談室」
岡山大学病院リプロダクションセンター

子どもを持つことを あきらめないといけませんか？

男性が子どもを持つためには、
精巣の中で作られる精子が必要です。
がんの治療である化学療法（抗がん剤治療）や
放射線療法を行うと、精巣がダメージを受け、
精子を作る機能が低下してしまう場合があります。
近年、がんの治療が進歩するとともに、がんを克服し、
その後に子どもを持つことを希望する方々が増えています。
このため、将来、ご自身の子どもを持つ可能性、
すなわち生殖機能、あるいは妊娠できる可能性（妊孕性）を
維持するための医療技術が注目されています。
これは生殖機能温存治療と呼ばれ、
現在、利用者が増加しています。
がんと診断されたばかりの方やそのご家族は、きっとがんの
治療のことで頭がいっぱいになっていることかと思います。
でも少しだけ、時間をいただいて、
将来、子どもを持つことについてもお話ししたいと思います。

よくあるご質問

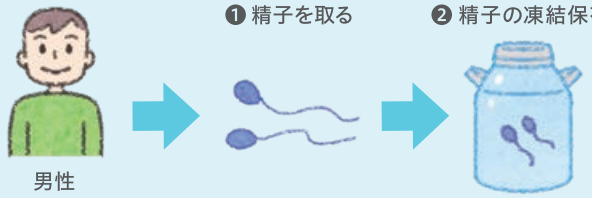
がんの治療中でも生殖機能温存治療を受けることは可能ですか？
治療を受けるための年齢が決まっていたり、がんの場所、がんの進行状況が関係したりしますか？

がんの治療中でも、年齢が高くても、対象となることがあります。
実際には、患者さんごとの精巣や精子の状態、がんの状態に応じて、生殖機能温存治療が可能かどうかは決まります。まずはご相談ください。

生殖機能温存治療とはどのようなことをするのですか？

精子の凍結保存とは？

射精などにより精液を採取し、精子をいくつかの容器に分けて凍結保存する方法です。
精液を採取することが困難な場合や精液の中に精子が見つからない場合には、顕微鏡で見ながら手術的に精巣から精子を取り出すこともあります（Onco TESE）。



➡ 将来、子どもがほしいと思ったら、解凍（融解）して使用します。

Q. どのような方が選ぶの？
A. 精液の採取が可能な方。
（採取ができない場合もご相談ください。）

Q. どのようなことをするの？
A. 射精をしてもらって精子を集めます。
場合によっては精巣から精子を取り出すこともあります。いくつかに分けて凍結保存をしておきます。

Q. どのくらい日数が必要？
A. 射精の場合は時間はかかりません。
何度か取っておくことも可能です。

※ 一部の自治体では、生殖機能温存治療の費用への助成制度が始まっています。岡山県不妊専門相談センターでご相談ください（パンフレットの裏面をお読みください）。

Q. 将来、子どもを持つ時にすることは？
A. 凍結しておいた精子を用いて不妊治療を行います。

Q. リスクはあるの？
A. リスクはほとんどありません。
精巣から精子を取り出す場合は簡単な手術が必要です（Onco TESE）。

Q. 現在、どのくらい行われているの？
A. 技術的に確立しており、実施例も多いです。

Q. どのくらい費用がかかるの？
A. 数万円
その後、年間 1～2 万円の保管料がかかります。

他にも知っておいてほしいこと

- ○ がんの治療が優先されます。
- ○ 生殖機能温存治療を行う時には、がんの治療を担当している主治医の了承が必要です。ただし、相談は自由に行うことができます。
- ○ 精液や精巣中に精子がない場合は凍結保存できません。
- ○ 生殖機能温存治療の費用は自己負担で、保険適用はありません（自治体によっては助成制度があります）。
- ○ がんの病状や精巣の状況によっては、生殖機能・妊孕性温存治療を行うことができない場合があります。
- ○ 生殖機能温存治療は、100％の妊娠・出産を約束するものではありません。
- ○ 生殖機能温存治療の他にも、養子縁組などの方法で子どもを持つことができます。
それについても相談することが可能です。

生殖機能温存・妊孕性温存治療をする前に知ってほしい基礎知識

マンガ・リーフレットのご紹介

妊娠のしくみや人工授精、体外受精などの生殖医療の基礎知識について知りたい方や確認したい方はマンガ「未来への選択肢」や各種のリーフレットをご覧ください（がんと生殖医療ネットワーク OKAYAMA ホームページからもダウンロードできます）。

ライフプランを考えるあなたへ
―まんがで読む―「未来への選択肢」

知っておきたいシリーズ 1～4